

名古屋大学大学院生命農学研究科
 応用生命科学専攻（応用微生物学研究室）助教公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科応用生命科学専攻応用微生物学研究室
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための教育研究を推進しています。それにより食・環境・健康の増進・向上に貢献することを目的としています。</p> <p>応用微生物学研究室(木村真教授)は、大学院生命農学研究科および農学部において微生物学に関連する教育を担当するとともに、微生物機能の制御や改変によって、食・環境・健康に関する SDGs の達成に貢献する基盤研究、応用研究を推進しています。今回、木村教授と協力して糸状菌を対象とした研究を推進しつつ、食と環境と健康に深く関わる学問としての応用微生物学を切り拓き、当該研究分野の更なる発展に貢献する助教を公募します。また、大学院・学部での教育と研究指導に熱意と責任感、協調性をもって取り組むことができる人物が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命農学研究科の管理運営に関連する業務 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程 応用微生物学特論、生命農学演習 修士論文研究等 ・博士後期課程 博士論文研究 <p>(2) 学部</p> <p>情報リテラシー入門、応用生命科学実験実習等</p> <p>※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p>

		[勤務地] 愛知県名古屋市千種区不老町	
		[募集人員] 助教（テニュアトラック）・1名	
		[着任時期] 2022年2月1日以降早い時期	
4	募集研究分野	大分類	農学
		小分類	農芸化学（応用微生物学）
5	勤務形態	常勤（テニュアトラック） 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者、または着任までに取得予定の者 ・農芸化学分野における微生物学を専門分野とすること ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者	
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応募期間	2021年8月30日～2021年10月29日必着	
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書 （3）研究業績リスト（原著論文、総説、著書、その他〔知的財産等〕に分けて番号を付け、応募者本人が責任著者となっている論文の番号には*を付けること。） （4）現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （5）今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度） （6）大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（800字程度） （7）過去の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費を明記のこと） （8）大学における社会連携、国際協働についての考え（400字程度） （9）教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項 （10）応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メール	

		<p style="text-align: center;">アドレス</p> <p>(11) 論文等の PDF ファイル (主要なもの 5 編程度)</p> <p>[書類送付先]</p> <p>上記の提出書類(1)～(10)を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイルとともにフォルダに入れ、圧縮 (ZIP 形式) フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。</p> <p>メールのタイトルは「応用生命科学専攻応用微生物学研究室助教応募 (氏名)」としてください。</p> <p>また、ファイルサイズは全体で 10MB を超えないようにしてください。やむをえず超えてしまう場合は、あらかじめご連絡ください。Eメールでの提出はファイルのサイズが大きい場合、受信できない可能性がありますので、可能な限りファイル共有サーバーをご使用くださるようお願いいたします。</p> <p>なお、受領確認のメールを返信しますので、届かない場合には必ず委員長まで電子メールにてお問い合わせください。</p> <p>書類の送付先アドレス (電子メール) : (mkimura[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。)</p> <p>[問い合わせ先]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻 応用微生物学研究室助教選考委員会委員長 木村 真 送付先アドレス (電子メール) : (mkimura[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。)</p> <hr/> <p>[選考内容 (選考方法、採否の決定)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
10	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。